

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：クリーン

製品番号(SDS NO)：20160804_1_J-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：カーペット、布家具洗浄

供給者情報詳細

供給者：株式会社ベストハウス

住所：東京都品川区東五反田5-19-1

電話番号：03-6432-5797

FAX：03-6432-5798

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
C9-11 エトキシ化アルコール	68439-46-3	1 - 5	-
プロピレングリコール	57-55-6	5 - 10	2-234

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類、靴を直ちに全て脱ぐこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぐこと。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

意識のある場合はコップ1 - 2杯の水を飲ませる。
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

特になし。

応急措置をする者の保護

適切な訓練を受けた人が措置する。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

大量に飲み込んだ場合あるいは吸入した場合は直ちに専門家に問い合わせる。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

不適切な消火剤

知見なし

特有の危険有害性

火災又は加熱により圧力が上昇し、容器が破裂し爆発するおそれ。

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、金属酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

区域より退避させること。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

全面型陽圧の自給式呼吸保護具、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

環境汚染(下水道、水路、土地、空気)を引き起こした場合は専門家に通知する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量漏洩の場合:

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

漏出区域から容器を移動させる。

水に可溶の場合は水で希釈して吸い取る、または不活性の物質に吸収させて、

適切な廃棄用容器に回収する。

許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。

大量漏洩の場合:

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

漏洩場所から容器を移動する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

乾燥した土、砂、バーミキュライト、珪藻土など不燃材料に吸収もしくは覆って廃棄用容器に移す。

許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

- 適切な保護具を使用する。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
- 取扱中は飲食、喫煙してはならない。
- 飲食区域に入る前に汚れた衣類及び保護具を脱ぐ。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 乾燥した、換気の良い、涼しい場所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会関連許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 排気/換気設備を設ける。
- 洗眼設備及び安全シャワーを設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 呼吸用保護具の選択は許容濃度、製品の危険有害性、呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択する。

手の保護具

- 非浸透性、耐化学品の保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 側面シールド付安全メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 作業者の身体保護衣及びブーツは、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択し、専門家の承認を受ける。

衛生対策

- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後は、食事、喫煙、手洗いの前に汚染箇所をよく洗う。
- 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：薄い琥珀色

臭い：チェリー臭添加

臭いの閾値：知見なし

pH：8.5±0.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：> 100°C

蒸発速度：0.22

融点/凝固点：60°C

燃焼性(固体、ガス)：知見なし

引火点：94°C

自然発火温度：知見なし
爆発特性：引火又は爆発範囲
 下限：知見なし
 上限：知見なし
蒸気圧：226.65Pa
VOC：0%
相対蒸気密度(空気=1)：4.1
比重/密度: 1.02 + 0.01g/cm³
粘度：知見なし
溶解度
 水に対する溶解度：100% 溶ける
n-オクタノール／水分配係数：知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性

 具体的試験データなし。

化学的安定性

 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

 通常の保管条件/取扱い条件において危険な反応が生じない。

避けるべき条件

 特になし。

混触危険物質

 強酸、強酸化性物質(漂白剤)

危険有害な分解生成物

 通常の保管条件/取扱い条件において危険有害な分解生成物は生成しない。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

水溶解度

 (プロピレングリコール)

 混和する (ICSC, 2014)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

 (プロピレングリコール)

 log Pow=-0.92 (ICSC, 2014)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする。
許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

容器は、洗浄後再使用又はリサイクルできる。
焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。
空容器には製品残留のおそれがあり、取り扱いには注意が必要である。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

特別の安全対策

凍結を防ぐ。
密閉し、容器の直立状態を保つ。
輸送事業者が事故や流出の際に応急措置などか知っていることを確認する。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

プロピレングリコール

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第3石油類 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

プロピレングリコール(政令番号106 人健康影響)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成27年度）です。